

### 第3回学校関係者評価委員会兼信頼される学校作りのための委員会について(報告)

平成29年2月16日(木)に表記の会が実施されました。午後の短い時間ではありましたが、生徒、保護者、職員、地域の皆様にお願ひしたアンケートを基に、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきました。中には、継続的な取り組みを要する内容もありましたが、できることはすぐに改善して今後の枕崎高校の教育活動に生かして参ります。質疑や意見の主なものは以下のとおりです。

#### 1 SNSの活用について

- ・ホームページはあるが、SNSに関しては県の制限等で現在も検討中である。HPに関してはブログの更新に努めており、昨年度は200回程度、今年度はほぼ毎日更新している。
- ・ブログは自らそのページにアクセスすることで見るが、SNSは登録していれば、自動的に情報が入ってくるようになっている。若い世代は携帯を使うことに慣れているので、生徒内で広報部などを立ち上げ、ブログの更新や、SNSを通じた広報をやらせてみたら楽しいのではと思う。

#### 2 携帯使用のあり方について

- ・携帯に関しては学校の敷地内では使用禁止となっており、SNSの更新に関してもどの範囲までを生徒にさせるかという点で、検討が必要である。生徒を中心とした広報部の立ち上げについては、今後検討する。

#### 3 生徒について

- ・一部の生徒の生活態度の悪さについて、悪い点を指導するのはもちろんであるが、どの生徒にも長所があるので、その長所を活かした指導を先生方には徹底してほしい。
- ・成績や素行の悪い生徒にも長所があるので、その長所を活かすような関係を生徒と先生方だけでなく友達の間でも築ければ良いと思う。

#### 4 保護者への連絡について

- ・保護者への連絡にLINE等のSNSを利用すれば、教師と保護者が直接連絡を取り合える場ができると思う。学校行事に参加しなければ生徒の現状が見えてこないが、プリント等を保護者に渡さない生徒もいるので、学校からの連絡が行き届いていないこともある。

#### 5 学年別の最終評価について

- ・1年生 一部の生徒に流されてしまう傾向がある。部活動等への気持ちを高めさせ、生徒の言動を鎮めていくという手段もよいのではないか。
- ・2年生 1年次と比較すると、学校生活の乱れがほぼなくなっている。来年度に向けて、最高学年にふさわしい指導を心掛けたい。
- ・3年生 職員側が生徒の進路実現に向けての気持ちを高めるといった部分もあった。進路実現のためにも早めに生徒に意識させることが大切だと感じた。